

29 薬学第 26 号
平成 29 年 8 月 30 日

各関係機関長 様

公立大学法人 名古屋市立大学 大学院薬学研究科長
林 秀敏 (公印省略)

細胞分子薬効解析学分野教授の公募について (依頼)

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当研究科では細胞分子薬効解析学分野担当の教授の公募選考を行うことになりました。つきましては、貴機関 (学部、大学院、研究機関) および関係方面に適任な候補者がおられましたら、下記の要領でご応募頂きたく、周知方お願い申し上げます。

敬 具

記

所 属：細胞分子薬効解析学分野 (分野の名称は着任後適当な時期に変更可)

研究分野：細胞分子薬効解析学に関わる研究分野 (薬理学、毒性学、薬物治療学、細胞生物学などを含む) 但し、当研究科には本分野以外に神経薬理学分野があること、現在の細胞分子薬効解析学分野には准教授・助教が在職中であることを申し添えます。

担当科目：細胞分子薬効解析学特論および創薬生命科学基礎の講義 (大学院)、薬理・毒性学、機能形態学、臨床薬学の講義および医療機能系実習 (学部) 他。また、臨床薬学教育に熱意を持ち、豊富な薬学教育経験を有することが望ましい。

資 格：博士の資格を持つこと。また、薬剤師免許を持つことが望ましい。

任 期：7 年 (再任可。本研究科では、教授全員に任期制を導入しております)

着任時期：平成 30 年 4 月 1 日以降のできるだけ早い時期

提出書類：6 部 (但し 5 部はコピーで可)

- (1) 履歴書 (連絡先の電子メールアドレスを明記、また、産休・育休期間がある場合は履歴にご記入ください)
- (2) 業績目録 (取得された特許等の知的財産も含みます。過去 10 年間に省庁、財団などから代表者として受領された公的研究助成の研究課題と助成金額 (直接経費のみ) も併せてご記入下さい)
- (3) 主要な公表論文 5 編の別刷
- (4) 主な業績の要約と今後の抱負 (A4 用紙 2 枚以内)。ご自身の研究と教育の抱負に加えて、薬学教育全般にわたる展望もお書き下さい。
- (5) 問い合わせのできる方 1 名の連絡先 (推薦状不要)

応募締切：平成29年10月31日（火）（郵便書留にて必着のこと）

選考方法：書類による選考を行った後、必要に応じてご来学頂き、面談、プレゼンテーションをお願いする場合があります。また、名古屋市立大学では男女共同参画を推進しており、業績と能力が同等であるならば、女性を積極的に採用します。

書類提出先：〒467-8603 名古屋市瑞穂区田辺通 3-1

名古屋市立大学大学院薬学研究科長 林 秀敏

（封筒に、「細胞分子薬効解析学分野教授応募書類在中」と朱書して下さい）

電話（事務室） 052-836-3402

FAX（同上） 052-834-9309

ホームページ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/phar/>

その他

- (1) 提出された応募書類により取得した情報は、当該選考目的以外には使用しません。提出された応募書類は、原則として返却しません(選考終了後に、適正に廃棄します)。なお、応募書類等の返却を希望される場合は、返却希望の旨を明記の上、返信切手を貼った封筒を同封して下さい。
- (2) 選考の過程で面談、プレゼンテーションをお願いする場合、面接時の旅費支給は行いませんので、ご了解下さい。